

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.45 (2019.12.27)

令和元年度スローガン
みんなで目指す顧客感動経営
顧客満足(CS)と従業員満足(ES)の向上
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄



元号が令和に変わった今年も終わろうとしております。会社にとっては人事制度の大幅な見直しや働き方改革・生産性向上などを目標に掲げた年でありました。おかげさまで来年3月期の業績予想は期初の計画通り売上・利益を達成する見込みとなっております。また働き方改革への取組では一部残業時間が突出しているケースはあるものの、徐々に皆さんの意識は変化してきており、有給休暇の取得状況も月次の職員会議でチェックされているためか例年よりも進んでいるようです。大事な事はたくさん休む事ではありません。労働時間を短くしても付加価値（利益・出来高）が確実に確保できるように生産性の向上に取り組む事が重要で、当初から私が「生産性を向上させるための設備やシステムへの投資は積極的に行う」と申し上げているのはそういうことなのです。

それでは「生産性」すなわち「労働生産性」とは何なのでしょう。労働生産性は「労働者一人あたりが生み出した成果」で次の式で表されます。

労働生産性 = 付加価値（アウトプット）の質×量 / 労働時間

労働生産性を高めるためには、分母の「労働時間」を減少させるのと同時に、分子の「付加価値の質×量」を増加させることが重要なのです。「付加価値の質」とは何でしょうか？利益率・土木建築物の品質や出来栄などがそれにあたるでしょうし、付加価値の量とは利益額や出来高がそれにあたると思います。質と量を高めて労働時間を減少させるためには「仕組みを改善」とすることと個々の「スキルアップ」を図るという2つの方法があります。仕組みの改善とは無駄を省き機械やシステムを導入することであり、スキルアップは我々一人ひとりの能力の向上に他なりません。以上のとおり働き方改革で重要なことは既成概念にとられない改善への取組と教育訓練による能力向上である事がお分かりいただけると思います。来年は新しい干支の始まりである子年、気持ちを新たに新年に向かって自分の目標を定め、仕事を通して日々成長していく中で生き甲斐や働き甲斐を感じて参りましょう。

年末年始は穏やかな天気予報が出ております。国道・鉄道の除雪作業に従事される方々にはご難儀をお掛けしますが、休める時にはゆっくりと年末年始をお過ごしいただき、良いお年をお迎え頂きたいと思います。一年間有難うございました。皆様良いお年をお迎えください。令和2年も宜しくお願い致します。

山葵沢地熱発電所見学会

10月28日、湯沢商工会議所主催で湯沢地熱様のご協力により見学会を開催、20名近くが参加しました。大楽社長・鳥居部長に概要説明と案内を頂き、当社が工事中の施設もご紹介頂きました。皆さん初めて見る発電所の迫力

に驚いておりました。



七夕絵灯ろう台湾 PR



11月16～17日、台湾台北市において日本政府観光局等の主催による「日本東北遊楽日2019」が開催され、湯沢七夕絵灯ろうを展示PRして参りました。二日間で10万人を超える来場者で溢れ、皆スマホ等で撮影をしていました。好評で次年度も依頼されております。



イルミネーション点灯



12月5日、湯沢市ジークブルガー通りの「光のフュージョン」点灯に合わせ、当社でも正面にイルミネーションを設置しました。4時半から点灯し午前零時に消灯します。犬っこ祭りのあたりまで点灯する予定です。魁新聞にも取り上げて頂きました。

